



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 85

2014. 1. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

みなさま、新年明けましておめでとうございます。

幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

お正月は食べて 寝て 寝て 食べて 寝て…しっかり休養をとって心も体も

ひとまわり大きくなって、みなさまにたくさんの笑顔と幸せが「うま」れる年になりますように！

本年も尚一層のお引き立てとご愛顧の程お願い申し上げます。

==== も く じ =====

- 1、新年のご挨拶 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 理事長 須藤千春
- 2、認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク事務局スタッフ 『今年の抱負』
- 3、『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト～寄付キャンペーンご協力の御礼
- 4、第9期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア 受付のご案内
- 5、千葉アレルギーネットワークのご紹介
- 6、東北の冬 「最終回」 佐々木 朋子
- 7、防災のはなし 第3回 「公助」 防災士 中根 輝彦
- 8、東日本大震災に対する支援活動のご報告 常務理事 中西里映子
- 9、「アレ大修了生☆リレートーク」 第12回
- 10、アレルギーっ子のおいしいレシピ 丹羽 恵子
- 11、法人会員からのメッセージ ダイワボウノイ株式会社
- 12、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会
- 13、アレルギー児親の会からのご案内
- 14、1月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 15、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 16、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 17、募金にご協力ください

=====

-
- 1、新年のご挨拶 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 理事長 須藤千春
-

謹んで、新春の喜びを申し上げます。

旧年中は、皆様大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワークは2006年に発足しましたので、本年で9年目になります。

その間に、アレルギー情報の普及・啓発・交流事業、アレルギー専門職の育成支援事業、調査研究事業、災害救援及び防災対策事業、関連用品の販売普及事業、医療機関への栄養士派遣事業、寄付助成事業、その他の事業と、多彩な事業を展開してまいりました。このように本会が順調に発展、成長できたのは、庶務幹事の故栗木成治さんの尽力によるものです。栗木さんはアレルギー支援ネットワークを立ち上げ、中心になって活動を進めてまいりました。彼の構想力、推進力によって本会はここまで歩んでくることが出来ました。栗木成治さんに感謝し、冥福をお祈り申し上げます。

さて、本会は草創期から守成期に入ります。草創には草創の困難があり、守成には守成の困難があります。我々はこの困難を乗り越えて行きたいと考えております。

旧年中のご厚情に感謝申し上げますと同時に、本年もよろしくご支援、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

2、認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク事務局スタッフ 『今年の抱負』

みなさま、新年明けましておめでとうございます。

事務局スタッフの今年の抱負をお伝えします。

青木 担当：専務理事、アレルギー大学調理実習責任者、物販責任者
年を重ねてまいりますと、今「ここで若い人たちに伝えておかなければ！」と思うことが多々あります。経験・体験を通してお話ししていただけたらいいな、と思っております。

中西 担当：常務理事

アレルギー児の母となった事をきっかけに、1994年、当時住んでいた愛知県岡崎市にて「岡崎アレルギーの会」を設立。アレルギーの子どもを持つ母親たちが抱えている寂しさや悩みを分かち合うためのおしゃべり会や、アレルギーの子どもたちのキャンプやスキーなどを、何より自分たち家族も楽しむために企画し、20人近くの子どものたちと楽しく過ごすことができました。ご縁があって2002年から「NPOアレルギーネットワーク」の活動に参画。2006年には「NPO法人アレルギー支援ネットワーク」設立に伴い、事務局長を務めさせていただきました。その年から開講した「アレルギー大学」も、試行錯誤を繰り返しながら8年間の間に約3000人の受講がありました。特に昨年度は初めて、保育士や管理栄養士を目指す学生対象に「アレルギー大学ベーシックプログラム」と称して、一日集中講座を行ったところ500人のお申し込みが殺到し、学生たちの意識の高さに嬉しい悲鳴をあげました。また、愛知県の講座もコンスタントに100人の受講生があり、自治体の職員も多く受講され、社会的に認知される講座として成長してきたことを何より嬉しく思っています。

NOP活動に参画をし始めて、まだたった12年ですが、当初より、心から尊敬し信頼し、アレルギー大学を基幹事業とした活動を推進し、実績をコツコツと共に積み上げてきた栗木さんを、昨年の4月に病気で亡くしたとき

には、途方に暮れました。栗木さんの、アレルギーに対する想い、情熱、使命感、行動力、お人柄・・・に触れることがなければ、おそらく、今の私は存在しなかったと思います。

事業を推進する責任もあり、悲しみに暮れる間もなく、あっという間の9か月が過ぎ、新しい年を無事に迎えることができホッとしています。この9か月の間に、支援ネットの理事・スタッフの皆さんと、大いに考え、悩み、議論して事業を進めつつ、私に課せられたことは何かを考えてきました。

アレルギーに悩む親子のために自分の経験を生かしたいと思っていた私の気持ちを、社会に貢献すること誇りとし事業をすすめる道に導いてくださった栗木さんに、ご恩返しをするために、

今年も、理事スタッフ全員が、社会貢献を誇りとして、それぞれの担当事業を推進することができるように、
財政基盤を整える

アレルギー大学をさらに充実させる

地域の患者会を自治体と協働して支援する

アレルギーっ子の防災対策のために広域のネットワークづくりを推進する

まだまだ未熟で失敗も多いですが、私どもの活動を応援してくださる多くの医師・専門職の方々、自治体、賛助法人企業の皆さまとともに、そのご支援に感謝の気持ちを忘れず、いつも前を向いて、謙虚に誠実に活動をいたします。

鹿嶋 担当:事務局長、経理

平素はアレルギー支援ネットワークにご協力・ご支援を頂き誠にありがとうございます。

昨年より事務所のスタッフも増え、多くの活動を行うことができ嬉しく思っています。

それぞれの役割を最大限に生かし、アレルギー患者・家族への継続的な支援活動が行えるようにスタッフ一同頑張っていきたいと思っておりますので今後も引き続きご協力ご支援をお願い申し上げます。

榎原 担当:事務局次長、栄養士派遣事業、IT 関係

みなさま、あけましておめでとうございます。

医療機関での食事指導を開始し、丸1年が経ちました。2014年は軌道に乗せるところから、次のステップとして医療機関で指導を行うスタッフ皆が仕事をしやすいよう様々な改善をしていきたいと思っております。

また、HPもすべてのページが皆様に公開できるよう整えたいと思っております。

2014年は2年目の事務局次長として周りを見ながら仕事を進められるよう努力していきます！

羽田野 担当:アレルギー大学

『落ち着いて行動する』

今年は、落ち着いて&よく考えて計画的に進めていけるよう努めたいです！

特にアレルギー大学での司会進行を、上手に進めて行くことを目標にします。

森 担当:災害対策

足腰を鍛え、頭をフル回転させて、若い人たちの足を引っ張らないようにがんばります！

西尾 担当:インターネット・アレルギー大学、アドレナリン自己注射器講習会受付

昨年 4 月から支援ネットでお世話になり、何も分からず、日々の仕事をこなすことに精一杯でした。笑顔も少なく、ただ任された仕事をこなしているだけでした。

いい意味で仕事を楽しみと思えるように、自ら考え動ける 1 年にしたいです。

遠山 担当:アレルギー大学

2014 年抱負 一言

昨年、学んだこと・経験したことを活かし、皆さんに「伝える」一年にしていきます。

3、『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』

プロジェクト～寄付キャンペーンご協力の御礼

この度は、Give One E - ファンドレイジング・チャレンジ

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト～寄付キャンペーンにご協力、お振込みいただき、誠にありがとうございました。

いただいた寄付金は、

- ・親の会、患者会など会の設立に係る諸活動費、運営資金など
- ・食物アレルギー対応の調理実習や、アレルギー勉強会などの開催費用
(講師(支援者)謝金・会場費・材料費・資料印刷費など)
- ・会のリーダー1名に、「アレルギー大学」の基礎初級講座修了(参加費)の補助などとさせていただきます。

引き続き「GiveOne 寄付サイト」にて寄付金を受け付けておりますので、みなさまからのあたたかいご支援よろしくお願いいたします。

今後ともアレルギー支援ネットワークの活動にご理解、ご協力受け賜りますようお願い申し上げます。

4、第9期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア 参加申込受付のご案内

3月8日(土)・9日(日)開催

「第9期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア」

会場：名古屋国際会議場 2号館展示室 211・212

時間：3月8日(土) 10:00～17:00 3月9日(日) 10:00～16:00

【1月6日（月）より参加申込の受付を開始いたします】

お申込みは、チラシの「申込用紙」に必要事項を記入していただき、
FAX またはメールでお願いいたします。HP の「フェアお申込メールフォーム」からも可能です。

様々な講演・企画をご用意しておりますので、ぜひご家族やご友人の皆さまをお誘い合わせの上ご参加ください。

なお、講演会に参加される皆様には資料をご用意しますので事前お申込のご協力をお願い致します。皆様のお申し込みをお待ちしております。

☆当日のボランティアスタッフも同時に募集いたします！

3月8日（土）8：30～17：00

3月9日（日）8：30～17：00

両日または、各日の1日通してお手伝いしていただける方をお願いいたします。

お申し込みいただきましたら、事前打ち合わせをいたします。

ボランティアスタッフの募集締切は1月末です。よろしくをお願いいたします。

下記の項目をご記入いただきメールでお申し込みください。

件名：フェアボランティアスタッフ

（お名前・年齢・ご住所・電話番号・お手伝いしていただける日）

ボランティアスタッフお申込先メールアドレス：info@alle-net.com

5、NPO 法人千葉アレルギーネットワークのご紹介

昨年(平成 25 年)に立ち上げたばかりの NPO 法人千葉アレルギーネットワーク

副理事長 桐谷 利恵と申します。

アレルギー大学 in 千葉で第4期から現地スタッフとしてお手伝いしてきました。

アレルギー大学 in 千葉の講師の先生方と現地スタッフを中心に NPO 法人千葉アレルギーネットワークを立ち上げました。

千葉からアレルギーに関する情報発信をしていきたいと思っています。

○第8期の終了式は平成26年3月22日(土)午後1時より2時半まで

千葉市生涯学習センターにて行います。

詳細につきましては改めてご案内いたします。

○第9期アレルギー大学 in 千葉を開校します。

基礎初級から上級まで開校する準備をしております。

日程表が確定しましたら HP でご案内いたしますのでご期待ください♪

[千葉アレルギーネットワークホームページ: http://www.chiba-allergynet.jp/](http://www.chiba-allergynet.jp/)

6、東北の冬 「最終回」 佐々木 朋子

北東北の冬は厳しいです。雪が積もると、通勤が大変で億劫です。まず車のエンジンをかけ車全体の雪を払落とし、窓ガラスの氷雪が解けるのを待ちます。そして凍った道路を注意しながらゆっくりと走行。忙しく寒い朝にはきついです。日中も雪が降るようであれば、帰宅時にも同作業が待っています。また、雪が1日中降るときは人と車が通れるよう除雪を数時間ごとに行わなければなりません。スコップで除雪し、凍って危ないところはつるはしで氷を割り(天気も曇りが多く解けにくい)、。その繰り返しで筋肉痛に悩まされます。

しかし、同じ岩手県でも南沿岸は雪が積もらないので雪かきは必要ありませんが風が強くてこれはこれできつく、。春先も風が強いので、黄砂と花粉にすごく悩まされます。だからといって、冬の楽しみがないわけではなくスキー、スケートに行きまくり(でも私は好きではないので全く行きません)その後ゆったりと温泉。寒じめほうれん草や雪中にんじんといった旬の野菜、鍋(どんこやさんまのつみれ、鮭等)を楽しむことができます。

岩手は4月まで冬ごもりで、春が待ち遠しいです。

今回で私の原稿は終了させていただきます、拙い文章で誠に申し訳ございませんでした。皆様、本当にありがとうございました。

7、防災のはなし 第3回 「公助」 防災士 中根 輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。防災の話題も3回目。前回は「共助」のひとつ、地域防災活動において、アレルギー支援の協力をお願いするためには、自分たちも積極的に活動に参加して相互支援を盛り上げ、他の要援護の方への支援もしつつ、信頼を勝ち取ることが大事なことをお話しました。

第3回は、「公助」についてのお話です。

「公助」は、役所や官公署など公的機関が中心になって取り組む活動です。税金や寄付金などの公的資金を投入して実施されるため、公平性が求められます。また、議会承認が必要になったり、説明責任を果たすため、内容や実施方法について計画性を持って対応することが必要になってきます。

そのため、対策が実施されるまでに時間がかかる場合もあります。即断即決が必要な対策は、なかなか実現しないこともあります。一方、ひとたび必要性を認知されて対策が広がりを見せると、これほど心強いものはありません。特に資金面では、一個人や小グループの援助では叶えられない支援も受けられる可能性があります。社会福祉に関わる施策となればなおのことです。

これらの特徴を考えると、社会福祉的な支援となる内容で長期的な計画で取り組める施策となるものが受け入れられやすいのではないかと思います。災害時のアレルギー対応食支援の場合なら、備蓄食料の内容を通常食からアレルギー対応食へ切り替えるなどが考えられます。

私の地元の西尾市の場合、市役所防災課が備蓄するアルファ化米をアレルギー対応品に順次切り替えています。期限切れ近くなると自主防災会の訓練用に放出し、新しく補充するものをアレルギー対応品にすることで数年かけて切り替える計画です。

facebook の友達から教えてもらった例ですが、川崎市では地域防災計画に備蓄食料としてアレルギー対応品を配置するよう指定しているそうです。インターネットで検索すれば確認できます。

役所が取り組むと、アレルギー対応の必要性を一般市民にも理解してもらうチャンスが増えます。自治体間の情報交換や施策検討で広がりを見せると、もう、社会的に認められた施策といっても過言ではありません。

アレルギー支援の必要な当事者が、役所の取り組み事例を共有し、評価し、まだ、取り組んでいないところへ提言していく。議員へ陳情する。マスコミへ取材要請や投稿をする。このような「当事者による共助」、つまり、支援が必要なことを訴える活動が社会の認識を変え、やるのが当たり前の世の中を作っていく。最近では、エピペン講習がそのような盛り上がりを見せているように感じます。

公助による支援は大変心強いですが、前回までにお話したように、「自助」「共助」があってこそその「公助」です。自助努力なしに、ただただ「公助」に頼るのはいただけません。ここからは忘れずに取り組みましょう。

今回は、広くアレルギー支援の必要性を訴え、より多くの支援を得るために、「公助」をどのように生かすかについてお話ししました。

次回からは、アレルギー支援の取り組み事例について、より具体的に紹介していきます。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただくと嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先: (info@alle-net.com)

8、東日本大震災に対する支援活動のご報告 常務理事 中西里映子

岩手県釜石市立平田幼稚園での「アレルギー勉強会」のご報告

釜石市平田幼稚園よりご依頼があり、12/2(月)「アレルギー勉強会」の講師をさせていただきました。参加者は、アレルギー疾患を持つ園児の母親とアレルギーが心配な母親、保育士・幼稚園教諭の方、合わせて20人の参加でした。食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息などアレルギー疾患の症状や治療、園や家庭での対応など基本的なことをお伝えし、様々な疑問や質問にお答えしました。釜石市には、アレルギーの専門医がないため、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎の専門治療ができる医療機関がほとんど無く、アレルギー(の親)の会もありません。気軽に相談できる場がないため、患者家族の方は悩んでおられました。患者家族の方には、困ったことがあれば、いつでもお電話ください、とお伝えして勉強会は終了しました。

昨年、釜石市の保育園を対象に行いました「アレルギー講演会」がきっかけでご要望をいただき、今年は、幼稚園で勉強会を開催することができました。東日本大震災における、アレルギー患者の方の支援活動を継続する中で、講演会や勉強会など、アレルギーに関する普及啓発活動をおこなってきました。私たちにできることは小さな事かもしれませんが、コツコツと継続して活動をしていくなかで、アレルギーに関する理解が進んでいくことを望んでいます。

9、「アレ大修了生☆リレートーク」第12回 鈴木 直代

「食物アレルギー？少しずつ食べれば治るんじゃないの？」

「昔は、そんなのなかったよね。」

まだまだ、まわりでよく聞く言葉です。

調理師養成施設に勤務していた頃は、どのジャンルの料理もそれぞれの特徴や、手間をかけての調理法を覚え、美しい料理を作ることを重視していました。

一般の方に家庭料理を教える機会も増えて、結婚・出産後は、それまでの仕事を辞め子育て中心ながらも、乳幼児～大人まで、と依頼される内容も広がってきた頃、知人よりアレルギー大学を紹介されました。

遠方に住む義妹の子供(甥)が小麦・卵・乳のアレルギーで、義妹が離乳食から困り、奮闘していたのを知っていたので何か役に立てれば・・・という思いと、私自身、調理の仕事をするようになってから、それまで大好きだった甲殻類のアレルギーとなり、外食時は食材に気をつけるようになっていたので、迷わず受講することにしました。

受講してからは、驚くことばかり！

私には、難しい内容もありましたが、食物アレルギーのことだけではなく関連するすべて、乳児の口の中の構造だったり、離乳食の実習だったり、身近なものとして勉強させてもらいました。新米ママたちにも教えたいことも多かったです。

疑問点は、その場で専門の先生方に質問できるし、受講生の皆さんは、実際、アレルギー食に携わっている方が多く、生の現場の声も聞けました。

食物アレルギーで悩む人、それを支え、食事を提供する人…なんて多いのだろう。

料理を教えているのに、そんなことすらわからず、同じ「食べる」ことなのに、知らない世界でした。

近年になって言いだした食物アレルギーではありません。近年になって気づき、重要視されてきたのだと思います。

大人なら、我慢したり他のものを食べたり判断できることも、子供たちは…？

私たち大人が守っていかなくてはなりません。

現在も食に関係する仕事をしています。食べること、作ることの楽しさ、食の大切さは万国共通です。

それを少しでも伝えられる事に携っていることに感謝し、冒頭のような言葉が減って、多くの方々の理解が得られ、食物アレルギーの子供たち、すべての方々が、食べる事を楽しみにできるよう、今後も勉強させてもらいたいと思います。

10、アレルギーっ子のおいしいレシピ 丹羽恵子
「マコロン」

今回は第8期アレルギー大学の「研究・実践コース」の研究実習で発表していただいたレシピをご紹介します。

身近にある材料で簡単にでき、しっかり噛んで食べられるように工夫されています。

11、法人会員からのメッセージ ダイワボウノイ株式会社

いつも大変お世話になっております、ダイワボウノイ株式会社です。

弊社では、抗アレルギー物質・消臭・抗菌防臭機能をあわせ持つ繊維『アレルキャッチャー』を使用した商品を展開しております。

『アレルキャッチャー』とはフタロシアニンという青色の色素化合物で染色した繊維です。色素の中に

抗アレルギー物質・消臭・抗菌防臭機能があるため、『アレルギーキャッチャー』を使用した製品は、青色を帯びています。

弊社では、アトピー性皮膚炎をはじめとする敏感肌の方のための肌着や、寝具類、生活雑貨品等に応用した製品をご案内しておりますが、とりわけ注目されているのがマスクです。

最近、中国の大気汚染物質PM2.5が話題になっており、今年は花粉や黄砂と一緒に、日本各地へ飛来するのではないかと、連日報道されています。

弊社の『アレルギーキャッチャーマスク』は、0.1μmの粒子径を99%カットできるフィルターを採用しています。(PM2.5とは2.5μm以下の粒子状物質であり、0.1μm以下の粒子が含まれている可能性があります)

また『アレルギーキャッチャーマスク』には、ウイルスや花粉等のアレルギー物質を吸着する機能、大気汚染物質の一部である硫黄酸化物や、窒素酸化物を吸着する機能もあるため、お勧めです。

『アレルギーキャッチャー』関連商品については、弊社WEBをご参照ください。

<http://www.allercatcher.com/>

(または、アレルギーキャッチャー で検索ください。)

弊社の商品が、少しでも皆様のお役に立てましたら幸いです。

アレルギー支援ネットワークでは、30枚箱入りを取り扱っています。

☆1箱 定価 ￥2,000 (税別)

会員価格 ￥1,800 (税別)

ご注文は「注文書」に必要事項をご記入していただき、FAX またはメールでお願いいたします。

FAX:03-6893-5801 e-mail:info@alle-net.com

12、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会

昨年6月から始めました、あいち小児保健医療総合センターでの「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会は昨年9回開催いたしました。

何らかのアレルギー疾患をお持ちのお子さんが園、学校に在籍することが多くなり、アドレナリン自己注射器を持っている重症のお子さんも増えています。

園や学校の先生をはじめ、救急救命士の方まで、いろいろな方がご自分で対応できるようになるために、真剣な面持ちで講習を受けられていたことが大変印象に残っています。

以前、この講習会を知ったお母さんから、お子さんを通わせている園の先生がアドレナリン自己注射器の打ち方の講習会を受けたことがなく、とても心配というお声を聞いたことがありました。

できることなら打たずに救急車を呼んで対応しようと思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、症状が起き始めて、ほんの数分が命とりになってしまう可能性もあります。

講習会では、あいち小児保健医療総合センターの医師による食物アレルギーについての講義と、トレーナーを

使って、どのような症状やタイミングでどんな体勢で打つかの実践など詳しく学んでいただけます。迅速に対応していただけるようになるために、講習会へのお申し込みをお待ちしております。

現在、1月30日(木)と2月8日(土)の開催が決まっています。

追加の日程が決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

また、学校・園・地域・団体単位での講習会への講師派遣も受け付けております。

※上記の日程はまだ定員に達していません。

詳しくはアレルギー支援ネットワーク「お知らせ」→<http://www.alle-net.com/news/>

の中の「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会 開催・追加のお知らせをご覧ください、「詳細はこちら」をクリックしてください。

講師派遣依頼は、お申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上

FAX(03-6893-5801)でお申込ください。

13、アレルギー児親の会からのご案内

『RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会』

RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会 主催で食物アレルギー勉強会を1月12日(日)に開催します。講師は、豊橋市民病院小児科・あいち小児保健医療総合センターアレルギー科の杉浦至郎先生。

活動紹介では、豊橋市保健所 こども保健課と豊橋市教育委員会 保健給食課の方にご参加いただきます。

この勉強会で、食物アレルギーについて新しく正しい知識を学び、

食物アレルギーを持つ児の周囲の方々がお互いを知り、連携して、安全な社会を作っていけたら嬉しく思います。

アレルギー関連商品も、展示させていただきます。

アレルギー疾患を持つ子どもとご家族様をはじめ、学校・園の関係者、医療・福祉関係者等たくさんの方のご参加をお待ちしております。

『ぷちヴェール☆日進・長久手アレルギーの会』

1月のテーマは“薬剤師さんに聞く、アレルギー児のお薬相談会”です。

1月18日(土)にスギヤマ調剤薬局御器所店、店長・薬剤師の藤堂恭正さんをお招きします。

西洋薬のみならず、漢方薬についても相談できます。現在、飲んでいる抗アレルギー剤やステロイドの事や薬に含まれるアレルゲンについてなど、日頃気になっていることをこの機会にご相談ください。

0歳から中学生位までのアレルギー児をお持ちの親御さんや、アレルギーに関心のある方、

ご参加お待ちしております。

14、1月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

【1月の日程】

- | | | |
|----------|-----------------------|-----------------------|
| 8日(水) | 西尾アレルギーの会 アレっ子元気 | 西尾市総合福祉センター4階 洗心庵 |
| 9日(木) | 守山アレルギーの会 | 守山区社会福祉協議会 3階研修室 |
| | 天白アレルギーの会 | 天白区在宅サービスセンター ボランティア室 |
| | 岐阜市・アレルギーっ子の会「さくらんぼ」 | かとうマタニティクリニック・キッズルーム |
| 10日(金) | あま市アレルギーの会 | 美和公民館 |
| 13日(月・祝) | 刈谷アレルギー児の親の会 | 刈谷市民ボランティア活動センター |
| 15日(水) | アレルギー児親の交流会 | アレルギー支援ネットワーク事務所(予定) |
| 16日(木) | 名東アレルギーの会 | 名東区在宅サービスセンター・研修室2 |
| | 豊橋アレルギーっ子の会 | 豊障会館「さくらピア」児童保育室 |
| 17日(金) | 岡崎アレルギーの会 | 西部地域交流センター「やはぎかん」 |
| 18日(土) | ぶちヴェール(日進・長久手アレルギーの会) | 北部福祉会館 食事室&和室 |
| 21日(火) | 緑アレルギーの会 | 片平ふれあいセンター和室 |
| 23日(木) | 蒲郡アレルギーっ子の会 | 蒲郡勤労福祉会館 3階和室 |

【お休み】

春日井アレルギーの会、名古屋南部アレルギーの会、豊川アレルギーっ子の会

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

<mhtml:%7B391507A9-FDA5-4B61-A241-76B1EBC37C8A%7Dmid://00000148/%21x-usc:http://www.alle-net.com/>

皆さまのご参加をお待ちしております。

15、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

【防災セットとは】

アレルギー支援ネットワークの、防災救援システムの一つです。

緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンドにより、アレルギー疾患を持つ患者家族の皆様が、アレルギー支援ネットワークと連絡を取り合える事を目的とし、災害時・緊急時に患者の情報をスムーズに伝えるために役立つ緊急時(災害時)おねがいカードをセットにしました。

【セット内容について】

防災セットは、緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンド1本・緊急時(災害時)おねがいカード 3枚がセットになります。

【緊急時安否確認システム】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対してアレルギー支援ネットワークより安否確認メールを送信します。

メールに返信していただくことで安否の確認をいたします。その際必要な情報がある場合希望内容をご連絡ください。

被災した現地の支援情報等得ることができている範囲での最新情報をお伝えいたします。

【データ登録シリコンバンド】

シリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身につけていることで、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

【緊急時(災害時)おねがいカード】

災害時に保護者と離れ離れになっても、周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医等の情報を正確に知らせるための携帯用カードです。

非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報を提供するために役立ちます。

【防災セットお申し込みについて】

対象者:食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方

料金:アレルギー患者1人につき1セット無料(登録料・管理サービス料・送料などすべて不要です。)

注意・・公益事業として助成金で作成費などを補っているため、無償サービスは先着1万名様となります。

有償になる場合は事前にHPでご案内いたします。

予備・追加について:予備の購入、紛失等による追加は、シリコンバンド1個250円、緊急時おねがいカードは1枚25円となります。

(送料・振込手数料は自己負担となります)

【申し込みの流れ】

① 安否確認システムへの登録 (アドレス表示)から登録してください。

[登録方法](http://alle-res.com/Contents/Menu.php)をご覧ください、<http://alle-res.com/Contents/Menu.php> よりご登録下さい。

(既にシリコンバンドをお持ちの方もまずは安否確認システムへご登録ください)

登録に使用するメールアドレスは、「@」より前に「.」の使われているものはご利用になれません。

登録メールアドレスを設定する際に、メールフィルターをご使用の場合には、メールフィルターの設定を解除してください。

↓

②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く。

↓

③登録番号の決定(番号の指定はできませんので予めご了承ください)

↓

④登録番号の入ったシリコンバンド(1本)と緊急時おねがいカード(3枚)が届く。

(登録から発送まで、1～2週間ほどかかります。)

【登録後】

災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用頂けるよう、日頃から3～4ヶ月に1度程度メール配信をいたします。

メールアドレス変更・登録内容の変更等は、防災ネットワーク・お問合せフォームよりご連絡ください。

現在、様々な状況に応じできる限りの情報提供ができるよう平時より体制を整える準備を進めています。

16、アレルギー教本『食物アレルギーの基礎と対応』のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる『食物アレルギーの基礎と対応』。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々執筆・編集協力をしていただいております。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があるという皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

17、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」<http://www.giveone.net/cp/Pg/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～

(※GiveOneの寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは

asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆ ★☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。
ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----★みなさまからのご要望、
お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----